

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	愛知県・小牧市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	小牧市文化遺産総合活用活性化事業	【計画の改善時期】 無	
4 実施計画期間	平成 25 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>小牧市文化振興ビジョン（平成23年作成）の基本方針である「したしむ」、「みがく」、「つなぐ」を踏まえ、市民が文化に親しむ機会を確保し、地域の人材や文化資源を活かして地域の特色ある文化を創造し、貴重な文化資産を次の世代に継承するために、以下の取り組みを実施する。また、計画期間中、以下の事業を通じて行政と文化財保存団体による連携・協力体制の確立を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文化遺産に関する総合的な情報発信事業 2. 秋葉祭山車、おはやし、からくりフェスティバル等の開催 3. 後継者育成事業 			
6 実施体制			
<p>・事業については、小牧市が全体計画の調整や事業の指導等を行う。 市担当課：小牧市教育委員会生涯学習課 役割：文化財の取り扱い等に関する指導等 ・補助事業の実施については、次の団体が実施 小牧市文化遺産活用実行委員会（会長：増田和浩） 構成団体（小牧市教育委員会生涯学習課、西王母車保存会、聖王車保存会、湯取車保存会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 12,671 千円	平成30年度要望額： 1,123 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>本計画の実施により、市民の伝統文化に対する関心や意識が向上し、地域の文化遺産の保存と、次世代への確実な継承とともに、地域の活性化が期待できる。また、文化財保存団体、小牧市・小牧市教育委員会、小牧市観光協会が連携し、様々な事業や情報発信を行うことにより、観光客の増加に寄与することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
現在のところ、計画はありません。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	小牧市教育委員会 生涯学習課（文化財係）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分1:	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	秋葉祭の来訪者数			関連事業:	①	
目標値1:	平成 28 年度 1,100 人 ⇒ 平成 32 年度 1,500 人					
設定根拠1:	平成27年度の来訪者(約1,000人)から5年間で、1.5倍を目指し、毎年度100人の増加を設定					
進捗状況1:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
1,100 人	1,100 人	1,200 人	人	人	人	
0%	0%	25%				
目標区分2:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分2:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	小牧山車保存会の会員数			関連事業:	②	
目標値2:	【現状値】平成 28 年度 26 人 ⇒ 【目標値】平成 32 年度 30 人					
設定根拠2:	からくり・おはやしの継承できる保存会員を4人増やす					
進捗状況2:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
26 人	27 人	31 人	人	人	人	
0%	25%	125%				

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	地域の文化遺産次世代継承事業					実施団体：	小牧市文化遺産活用実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 25 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	<p>・秋葉祭に興味を持ってもらうため、からくりフェスティバルを山車置場前で行う。人形と触れ合うことを中心に行い、PRチラシを近隣の小学校及び子ども会等に配布し親子での参加を促す。</p> <p>・保育園児・小学生を対象におはやしに合わせて、太鼓やからくり操作の体験を行う。</p> <p>・秋葉祭当日、四輦の山車に専用のガイドを付け、観客に詳しい説明を行う。</p>										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	保育園・小学校からの要望に応じて、地域の子ども達が幼い頃から秋葉祭に慣れ親しむ機会をつくるため実施する太鼓やからくり操作の体験に参加した園児数・児童数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 420 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
0 人	280 人	328 人	人	人	人						
0%	67%	78%									
事業②：	伝統文継承基盤整備					実施団体：	小牧市文化遺産活用実行委員会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 25 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	おはやし（笛、大太鼓、小太鼓）やからくりを次世代に伝えるため湯取車、聖王車、西王母車では後継者育成の伝承事業を開催する。										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	小牧山車保存会の会員数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 26 名 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 30 名										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
26 名	27 名	31 名	名	名	名						
0%	25%	125%									